

1	審議会名	第11回 塩田地域協議会
2	日時	平成23年1月26日 午後2時から午後4時56分まで
3	会場	上田市塩田公民館小ホール
4	出席者	伊藤委員、大口委員、岡村委員、清水委員、関田委員、竹下委員、玉木委員、中村委員、南雲委員、西澤委員、丸山委員、南委員、宮沢委員、山極委員、若林委員
5	市側出席者	神林塩田地域自治センター長、志摩センター長補佐
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成23年2月4日

## 協議事項等

## 1 開 会（神林自治センター長）

## 2 地域協議会長あいさつ

昨年は、厳しい年であったが本年もよろしくお願ひしたい。インフルエンザが流行しているが気をつけて欲しい。地域協議会は、真価が問われているのでしっかりやり、「地域まちづくり方針」の見直し答申に向けて活発な議論をお願ひしたい。

## 3 協議

## (1) ため池の活用について

## ため池活用委員会報告（中村委員長）

塩田平のため池群が、昨年2月農水省の「全国ため池百選」に選定されたことを機に、ため池の有する重要性和多様な役割を地域住民が再認識して、地域の大切な資源としてその保全、活用を図ることを目的にわがまち魅力アップ応援事業に応募したい。事業としては、ため池管理団体及び所有者とため池活用懇談会の開催、ため池マップの作製、ため池表示板の設置、ため池美観への啓発、土手周辺の整備及び管理の啓発、ウォーキングなどを計画している。

## (質疑応答)

(委員) ため池表示の看板については、景観によいものを望む。

(委員) ため池表示板設置やウォーキングなどは、ソフト事業であり関係団体に依頼することとなる。池の管理者などどこまで話しができてきているのか。問題は、堆積した土砂の処理やしゅんせつ工事が難しく、管理者は困難を抱えているので関係者との十分な協議が必要である。

(委員長) ため池活用委員会が事業として取り組むには、啓発活動が中心となるがそれでも事業となるものか。既に観光パンフレットには、ため池の表示がされているので。

(委員) 土手周辺の整備としては、除草が大変でありネットの下など草刈ができなくて大変である。きれいに清掃できなくてもよいものか。事業としてどこまでするのか。

(会長) 事業を取り組むことで地域の見目が変わってくると思う。

(委員長) 住民へのPR効果だけでもいいと思っている。

(副会長) 景観によい看板もメンテナンスが必要となる。事業としてほか、特に別所温泉に結びつかないものか。

(委員) そのとおりで、別所温泉や周辺と関連を持ちながらやっているが100万円のできるものを考えればよい。

(副会長) 目的や効果などが見えるような計画が求められており、次に続くような計画が必要である。

(委員) 「全国ため池百選」を活かさないことはないの、目的を明確にすることは重要である。

(委員) ため池マップを求める観光客は多いので、マップはニーズにあると思う。

(委員) 「全国ため池百選」が、住民に知られていないので何らかの表示は必要である。観光マッ

ブとの整合性や草花の植栽に結びつく住民への PR のほか、今後の活用について協議して計画を継続させるようにすべきである。住民を取込んだ活動（行動）へ進めばよい。

（会長） 今年も、出来るところから始めればよく、住民がため池の大切さを理解すべきで、最終的に「全国ため池サミット」を考えている。住民全体に守る啓発が重要で、関係団体との協議が必要である。

（委員） マップの完成に合わせて、ため池ウォーキングをしたらいいと思う。結構いいもので魅力的である。

（会長） ため池活用委員会での計画を申請する方向で進めることとします。

(2) 第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」の見直しについて

塩田地域における「地域まちづくり方針」の見直しについての説明（地域自治センター）

（会長補足説明） 見直しは、全面見直しではなく有効活用に向けた見直しとしたい。進捗しているものは、原則変更なしとして新たな地域課題については、7 項目に入れていくほか含まれないものは別に設定してもよいと聞いている。

（質疑応答）

ア 地域コミュニティ施設の整備

（委員） 絵本展をやったが、施設の有効活用のため企画を充実しないといけないと思った。広報ツールが整っていればいいと思う。

（委員） 情報伝達は必要であるが、双方向の伝達が必要である。

（委員） 施設を利用できない遠方の方もいるので、イベントを盛り上げる必要もある。

（委員） 利用しやすいイベントの開催も必要である。

（副会長） ソフト面の内容ではなく、地域の活性化のための使い方や役立て方について考えたい。

イ 地域特性を活かした観光の推進

（委員） 別所線電車存続活動やため池活用を入れるべきである。

（会長） 札所めぐりや住民の足の確保に向けた取組みをどうするか考えて欲しい。

ウ 緑農ゾーンの整備推進

（副会長） 中山間地域をどう考えるかまた、荒廃地の活用をどうするかが課題である。

（委員） 塩田全体の高齢化、農業の担い手不足、農業法人化など事業展開が難しい。

（委員） 計画は、実態とギャップがあり農林業の振興策の話をやめたら鳥獣害が深刻になり、住宅地から上部は使われなくなり水田の荒廃が目立つようになった。

（委員） 将来農業は、個人経営は無理、全体の中で JA が運営するしかない。将来を託す委託事業をどう入れるかが問題である。

（会長） 鳥獣害対策は、重要であり盛り込むこととしたい。

エ 大学・研究施設と地域社会の交流の促進

（副会長） 中学生と大学生の連携はあるものか。

（委員） 今は行っていない。

（委員）（学校評議員として）前年度までは、大学生のボランティアが来てくれていたが正式な交流はなく、今は学校支援地域本部事業をしているのみ。

（委員） 中学校では、「塩田っ子応援団」のみの活動で県 PTA 新聞で紹介したが大学生との交流はない。中学校の課題は、校舎やグラウンドの整備である。

（副会長） 学校は荒れていないか。

（委員） 教室に入れられない子どもがいる。地域住民との接触が少なく、コミュニティが不足しているのが原因で、地域交流事業を希望している。

（委員） 地域住民も学校問題を気にしてくれており、次世代を担う子どもたちをどう育てるか幼・保・小・中からの課題である。

(副会長) 公民館が個人的なものとなっていないか、カルチャー化していると言われており、公民館が公として持つ役割を明確にしていきたい。

#### オ 計画的の土地利用の推進

(委員) 原案どおりでよいが、事情により青地(農業振興区域)が白地(農業振興区域外)になる例があり、虫食い状態となっている場合がある。

(委員) 農業従事者が高齢化しており、荒廃農地が目立ってきている。

#### カ 健康で明るい生活を営むまちづくり

(委員) 住民の生活を守る取組みとして自助、共助、公助の観点を大切にしてまちづくりを推進すべきである。振興会連絡協議会や別所温泉自治会連合会の取組みは、住民視点の取組みであり地域での助け合いが欲しい。振興会が行なっている豊殿のデマンドバス事業の取組みは、すばらしいもので地域での取組みの柱である。

(委員) スポーツ施設の整備をここへ出すべきものか。公民館のスポーツは、毎年同じものではたしてそれだけがスポーツ活動なのか。どこで誰が改善を要求するのかよくわからない。

(委員) 塩田中学校に対して住民が、施設開放を求めてもよいものか。

(委員) 生涯学習・スポーツは重要だが、混住社会で近隣のつながりがなく、あいさつのない塩田平にはあいさつが必要である。

(副会長) 安心・安全の表現をすべきである。

#### キ 安心・安全で快適な生活環境の実現

(委員) 幹線道路の整備が大切である。

(委員) 道路改良などは、毎年何年も前から言われており県、市には計画があるがあえて入れるべきか。

(委員) 安全・安心、災害対策をどう考えたいものか。

(副会長) 自治会ごとに防災計画を立てていると思う。

(委員) 生活環境課が進めている。

(委員) 計画は進んでいない。必要性を感じないと話が進まない。

(委員) 個人情報扱いについて、安全・安心の中に入れられないものか。

(3) その他  
特になし

4 その他  
特になし

5 閉会

\* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

\* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。